

空港におけるFAST TRAVELの推進

国土交通省 航空局 総務課 企画室
令和7年12月



FAST TRAVELの推進コンセプト

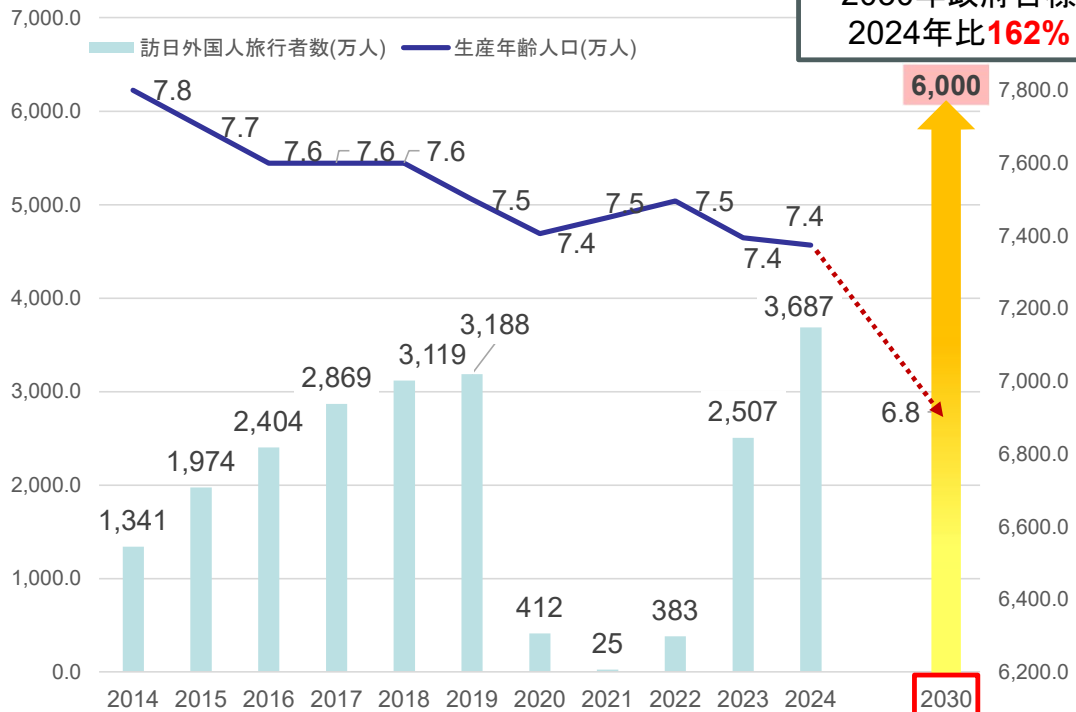
○ストレスフリーで快適な旅行環境の実現をめざし、世界最高水準の利用者サービスを提供するため、先端技術の活用等により、旅客が行う諸手続きや空港内の動線を高度化し、空路の利用に係る一気通貫での円滑化等を通じた旅客満足度の向上を図る。



FAST TRAVELの推進の必要性

- 「訪日旅客6,000万人の実現」という政府目標を達成するとともに、地方への誘客を促進し、我が国全体でその便益を享受することが重要。
- 一方で、6,000万人の達成には、空港業務人材の不足が懸念される中、先進機器を活用した生産性向上などによる受入環境の整備が必要であるとともに、**我が国空港における更なる利便性向上による国際競争力の強化が必要不可欠**。

【訪日外国人旅行者数の推移】



出典：総務省 人口推計、日本政府観光局（JNTO）公表資料

【アジア諸国の空港における導入事例】



(チャンギ国際空港HPより)

● チャンギ国際空港

- ・全てのターミナルで顔認証による搭乗手続き + 出国手続きを導入



(香港国際空港HPより)

● 香港国際空港

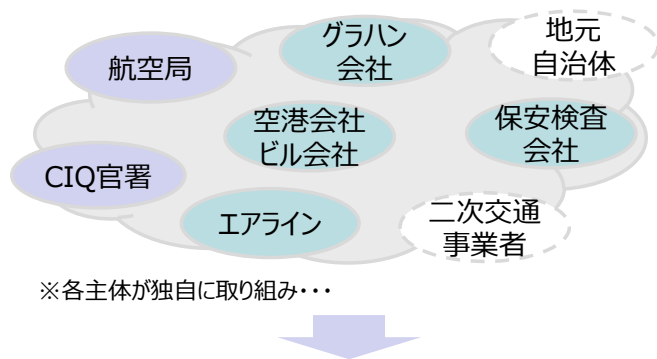
- ・顔認証による搭乗手続き
(2018年9月～)
- ※香港在住者は出国手続き含む

従前以上にスピード感を持つと共に、官民一丸となって、FAST TRAVELを推進することが必要

FAST TRAVELの推進にかかる取組方針

- FASTTRAVELの推進に当たっては、関連する手続きや取組の関係者が多岐にわたることから、**空港毎に関係者の連絡体制を構築・維持し、旅客動線を横断的に効率化や高度化について検討することが必要。**
- また、スピード感を持って利便性向上を図る上では、単なる自動化技術等の先進機器の導入のみならず、**先進技術の活用を念頭に旅客手続き等にかかる運用を変更する必要があることから、ルールメイキングも含めて並行して進めることが重要。**

(1) 空港ごとの取組



空港ごとのワーキンググループ (FAST TRAVEL WGなど)

空港会社、空港ビル会社
 エアライン・グラハン・保安会社
 航空局・CIQ官署、
 地元自治体・二次交通事業者 等
官民様々な主体が一体となって取組の推進を目指す！

主要空港など既に構築済みの空港においても、引き続きの体制維持

(2) 空港を横断した取組



行政の役割

- ①**既に確立されている技術の実装の促進**
 【先進技術の導入支援】
 高価な先進技術の導入コストへの支援
- ②**今後の更なる利便性向上の実現に向けて**
 【ルール作り】
 「先進技術を活用した新たな運用」を実現するためのルール作り
 【出入国手続き等との連携】
 出入国手続きも含めた空港における旅客満足度向上手法の検討

①技術の実装促進（FAST TRAVEL補助事業①）

- 世界最高水準の空港利用者サービスを提供するため、先端技術の活用等により、旅客が行う諸手続きや空港内の動線を一気に通貫で高度化することにより、出国時の搭乗関連手続きの迅速化を推進しているところ。

[補助対象事業者：空港ビル会社、空港会社等（補助率1/2）]

【搭乗関連手続きの円滑化】

- ストレスフリーで快適な旅行環境実現のため、自動チェックイン機・自動手荷物預機・スマートレーン等の自動化機器の導入を促進。



「自動チェックイン機」



「自動手荷物預機」



「保安検査場自動ゲート」



「スマートレーン・X線検査機器」



「自動搭乗ゲート」

- 更に、上記の自動化機器と顔認証技術を組み合わせることで、チェックインから搭乗までの手続きを顔パスで通過可能となる「One IDサービス」の導入を促進。

- 2021年7月に成田空港及び羽田空港で運用開始済み。（一部航空会社運航便が対象）



チェックイン

- ・顔写真
- ・搭乗券
- ・旅券情報を登録



手荷物預入

自動で顔を読み取り「顔パス」で荷物預入



保安検査場入場

自動で顔を読み取り「顔パス」



搭乗

自動で顔を読み取り「顔パス」

成田国際空港(株)HPより

チェックイン→搭乗までの自動化機器を顔認証システムで一元化（One ID化）
顔写真を登録した以降の手続きではパスポートや搭乗券の提示が不要となり、いわゆる「顔パス」で通過可能

①技術の実装促進（FAST TRAVEL補助事業②）

- 世界最高水準の空港利用者サービスを提供するため、先端技術の活用等により、旅客が行う諸手続きや空港内の動線を一気に通貫で高度化することにより、出国時の搭乗関連手続きの迅速化を推進しているところ。
[補助対象事業者：空港ビル会社、空港会社等（補助率1/2）]

【手荷物・旅客輸送の迅速化】

- 航空機運航に不可欠なグランドハンドリング作業について、**先進技術の活用により処理速度を高め、人手不足解消及びコロナ禍終息後の急激な航空需要の増加**という状況下においても、**円滑な手荷物・旅客輸送の実現を図る。**

手荷物の搬送

情報共有ツール



「スマートグラスアシスト」

ULDへの積み付け



「手荷物搭降載補助機材」
(手荷物自動搭載ロボット)

手荷物の運搬



「自動運転トレーイングカー」

機体への搭降載



「手荷物搭降載補助機材」
(延長型ベルトローダー)

旅客の移動



「自動運転ランプバス」

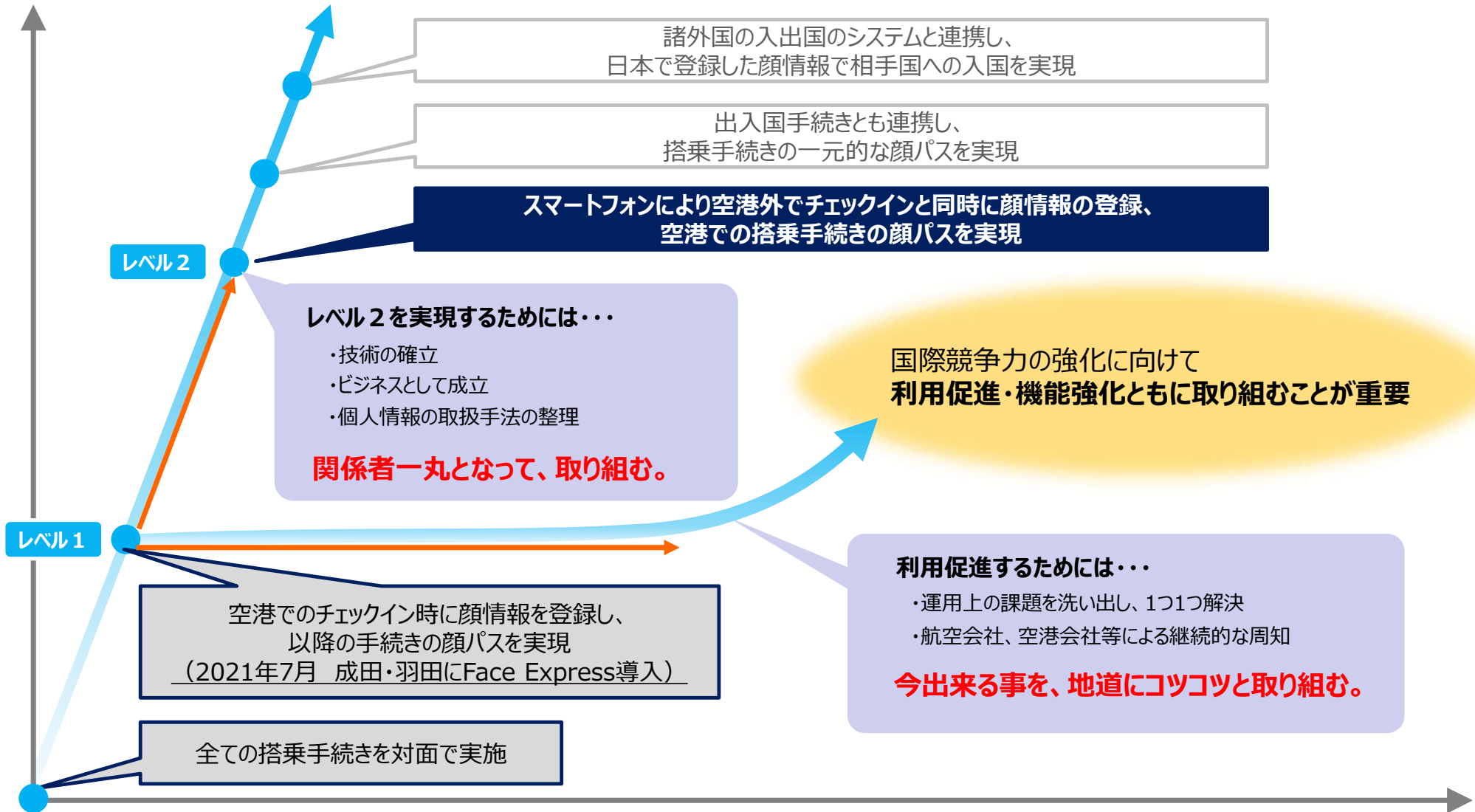


「搭乗橋装着の自動化、遠隔操作化」

- ・素早く荷物を取り降ろし運搬できることにより、旅客の手荷物受取場での待ち時間を短縮。
- ・手荷物輸送の遠隔化により、人手不足の状況下においても円滑な手荷物輸送が可能。

- ・多頻度のバス運行を可能にし、待ち時間を短縮。
- ・搭乗橋装着の遠隔操作化・自動化により省人化・省力化。

②更なる利便性向上に向けて（One ID ロードマップ（イメージ））



END

